

特集 ①

＼ 知ってほしい！ ＼
現役の先生たちのエピソード → 1・2ページ



先生たちのやりがいて何だろう？

特集 ②

＼ ご存じですか？ ＼
学校や子どもたちのサポーター → 3・4ページ



どんなサポートをしているんだろう？

目次

宮っ子ランチのレシピ紹介	5	教育委員コラム	8
奨学金利用者の声	6	令和4年度 イベントの様子	9
教育委員会からのお知らせ	7		

表紙の写真は、現役の教員や、学校と子どもたちを支えている教育支援者の方々、困難を抱える子どもたちの支援をする学校生活適応支援相談員など、様々な分野から子どもたちをサポートする人たちです。

どんなサポートをしているかご存じですか？

→ 続きは、ページをめくってみてください。

最後のページには、
ぬりえがあるよ。
完成したら、
トヨタカローラ栃木のお店へ
持って行こう！
オリジナルきんちゃくに
してもらえるよ。



先生が語る「教員」という仕事

教育委員会では、毎年、学校現場の実情の把握や、教職員の日々の成果・課題の再確認を目的として、教育委員と教職員で意見交換(ふれあいティータイムトーク)を実施しています。

本年度は「教員としてのやりがいやこれまでの困難の乗り越え方について」をテーマに、採用後約10年を迎え、学習指導や児童生徒指導面で学校の中心となって活躍している先生方6名にお話を伺いました。



いとう ゆき
伊藤 由希 先生
(姿川第二小学校)

周りの先生との対話で、自分の引き出しを増やし、
困難を抱える子どもたちをサポート

教員としてのやりがい

良いクラスができた時は勿論ですが、受け持った子が自分の手を離れた後に活躍している様子や、すごく良い子だという評判を別の先生から聞いた時、先生をやって良かったと思います。家庭環境が複雑な子や、注意した時に反発してしまう子ほど、良い変化を聞いた時には、心が躍り、良かったと思えます。

これまでの困難の乗り越え方

学級経営をする中で、試行錯誤しても効果が無かった時には、無力感を感じ、落ち込むこともありました。そういう時には、周りの先生に些細なことでも相談することで、自分の引き出しが増え、問題が起こった時にも様々な手段を取れるため、子どもたちとも気持ちに余裕を持って接することができました。



かんざき さとみ
神崎 里美 先生
(白沢小学校)

子どもたちが目をキラキラと輝かせて成長する姿を
見られることが、やりがい

教員としてのやりがい

教材を工夫したり、発問を変えたりするなど、試行錯誤した結果、子どもたちが目をキラキラと輝かせて取り組み、成長していく姿を見られることが一番楽しいと思います。

児童指導では、子どもの悩みや、困っている家庭に寄り添い、一緒に解決策を考えるようにしています。子どもたちが前向きに進んでいる様子を聞くと、少しでも成長に関われたことにやりがいを感じます。

これまでの困難の乗り越え方

周りの先生たちに支えられてきたと思います。どんな話でも聞いてくれたり、一緒にやってくれたりするなど、いつもそばにいてくれたので、思い詰めずに素直に悩みを相談できました。そういった先生方のようになりたいと思うことが、今私が前に進む原動力になっていると思います。



さとう まこと
佐藤 誠 先生
(瑞穂野南小学校)

「誰かと協力する」「頼りにする」ことができる環境で、
乗り越えた困難

教員としてのやりがい

行事や授業の際に、子どもたちのわくわく感を隠し切れない様子が見られたり、緊張していた子が物事をやり遂げた後、「先生できたよ!」と来てくれたりする時にやりがいを感じます。算数の授業の後などに、「なんか算数楽しいかも」と言ってくれるのを聞くと、やってよかったと思います。

これまでの困難の乗り越え方

「誰かと協力する」「頼りにする」ことです。私の周りには、適切なアドバイスをくれる管理職の先生や、私の提案を後押ししてくれる先輩方、軽いフットワークでサポートしてくれる同期の先生がいます。後輩から相談された時にも、相談に乗りつつ、自分を育ててもらっていると感じます。色々なことを乗り越えながら、先生からも信頼されるようになればと思います。



いまい なおき
今井 直樹 先生
(若松原中学校)

うまくいかない時には、生徒や保護者、別の先生の視点で物事を考えてみる

教員としてのやりがい

若手の先生が困らないよう、相談したり、話し合ったりしながらチームとして取り組んでいくことです。生徒指導の仕事も、ただ規則を守らせるのではなく、生徒の成長と向き合いながら取り組んでおり、生徒には「まず学び、次に学んだことを実践し、最後に自分で考えて行動する」というように、中学校3年間をかけて自主・自律の心を身につけて欲しいと考えています。

これまでの困難の乗り越え方

自分のしたいことがうまくいかない時に困難を感じます。特に初任の頃は、自分のクラスを良くしたいという思いが強すぎて、むきになってしまうところがありました。最近、生徒、保護者、別の先生と視点を変えることで、違う考え方や解決方法、声の掛け方に気づくことができ、心にゆとりが生まれてきました。



さとう さとみ
佐藤 智美 先生
(清原中学校)

「ベテランママ先生たちの協力」と「働き方を変える」ことで、育児と仕事を両立

教員としてのやりがい

3年間の育休を経て現在の中学校に赴任し、今年度から学年副主任という全体をみる仕事をしています。若い先生への声掛けなど、先生たちとの関わりがやりがいであり、今年異動してきた1歳のお子さんがある先生の気持ちが理解できるため、今度は自分が声を掛けてあげたいという想いがあります。

これまでの困難の乗り越え方

育児、家事、仕事の両立が大変でした。子どもが熱を出し、休むこともありましたが、当時の学年主任と副主任がベテランのママさん先生で、とても親身になって協力や声掛けをしてくれたお陰で精神的な面での負担も軽減されました。また、働き方も意識して変えたり、やるべきことに優先順位をつけたりすることで、両立できるようになってきました。



ふじた ひろき
藤田 大輝 先生
(旭中学校)

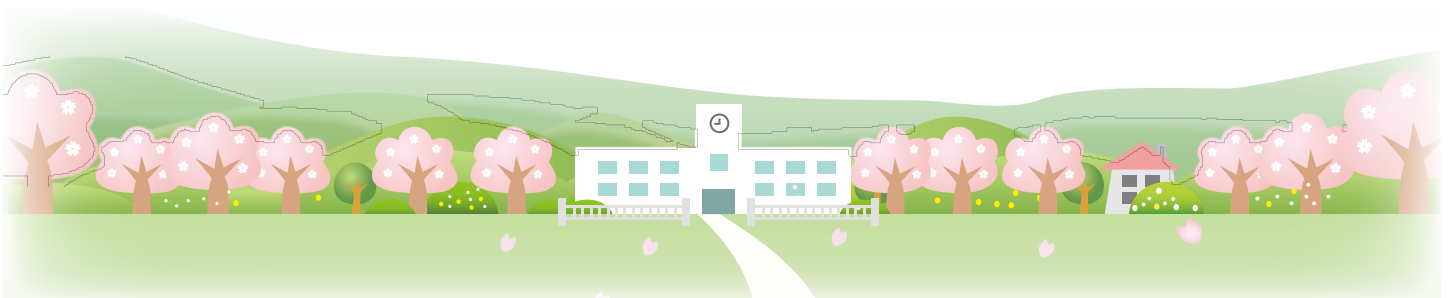
「感動できるのはこの仕事だけ」と感じ、「教員やってます」と胸を張って言いたいと思いました

教員としてのやりがい

ある時、弟や友達に、仕事のやりがいを聞くと、「顧客がとれた時」「上司に褒められた時」といわれ、私の価値観とは合いませんでした。逆に私は、「卒業式で感動して泣ける時」「体育祭で優勝した時」「合唱で普段歌えない子が歌っている姿を見た時」と出てきて、「感動できるのはこの仕事だけ」と感じ、「教員をやっています」と胸を張って言いたいと思いました。

これまでの困難の乗り越え方

最初の学校に勤めて2年目の頃、部活動で休みがなく、保護者からも「練習しているのに、なぜ勝たせられないのか」と言われ、非常に辛かったです。あまりの忙しさに毎日転職を考えていました。そんな時、先輩から「生徒の成長や日々の様子、頑張っている部分を電話で保護者に伝えるなどして、関係づくりを行うように」と言われました。保護者へ電話をかける抵抗感がある中、先輩が隣にいてくれたのを覚えています。今度は先輩の教えを引き継いで、後輩を助けたいと思います。



きらきらびと★みつけた

学校教育や子どもの育成活動に多大なる支援をしています

誰もが笑顔輝く教室に! / 「かすたネット」の皆さん ~4名のベテラン相談員~

「きちんとやりたいけれど、他の子が気になって集中できない」「黒板の字を写すのに時間が掛かって困っている」など、教室にはなかなか自分の思い通りにいかず、苦戦している子どもたちがいます。

本市ではそういったお子さんが教室で自信をもって活動し、笑顔を取り戻すことができるようにお手伝いしている『かすたネット(学校生活適応支援アドバイザー、学校生活適応支援相談員)』と呼ばれるスーパー戦隊が活躍しています。

令和4年度は、これまでに小中学校合わせて40校にアドバイスをを行いました。

学校生活適応支援アドバイザー

学校から要請を受けたアドバイザーが、学級担任等からお子さんの状況を聞いたり、実際に授業や休み時間の様子を観察したりしながら、どのように接していけば力を発揮できるか、今後の対応の方向性や役割分担、具体策について学校に提案します。

これにより学校は、児童生徒を、管理職をはじめとしたチームにより、共通の理解と支援の方針のもと、自信をもって対応できます。



学校生活適応支援相談員

かがやきルームなどで豊富な経験をもつ相談員が、悩みを抱える児童生徒に対して、その子の特性に応じた指導方法や具体的な支援の手立てを直接教室で行ってみせたり、かがやきルームの先生と連携して対応したりするなど、毎日の生活の中で生かせるアドバイスをします。

これにより、児童生徒は、学校で自己の能力を最大限に発揮し、生き生きと過ごせるようになり、学級担任も、アドバイスを活かして関わり方を見直し、指導力や学級経営力を向上させることができます。

状況によっては、学校訪問を繰り返したり、学校で開かれるケース会議に参加したりするなど、学校と連携を図りながら、「お子さんにとっての一番」を考えていきます。



? 「かがやきルーム」とは?

発達障がいなどの傾向により、学習や生活上に困難さを抱えた子どもたちが、担任による授業をメインとしつつも、児童生徒の実態に応じて個別指導や小集団指導を受けられる教室です。(市立全小中学校に設置)



加藤 京子 さん (中央小学校)



活動日数はなんと年間80日以上!

「みんなが必要としてくれるから活動を続けられる」「誰かの心の支えになれることが嬉しい」と、身近なものを使って手作りのお花やお月見、クリスマスなどの行事色のある飾り物を作ったり、子どもたちに教えたり、また完成した作品は学校に飾ってくださる加藤さん。

ほかに、お茶などのまちづくり伝統文化教室や、地域行事への協力、地域協議会では、コミュニティセンターや育成会が主催する各種体験プログラムの企画、運営などの活動を、平成5年度から通算29年に渡って実施するなど、子どものあらゆる育成活動にご尽力いただいています。

とまつり見守り隊 (戸祭小学校)



▲左：宮下さん、右：村田さん

「私1人でも見守り活動を継続してもよいでしょうか」。宮下さんから当時の校長先生への言葉です。快く承諾され、「とまつり見守り隊」は発足しました。前身は「とまつりパトロール」。平成13年6月に、大阪府の附属池田小で発生した無差別殺傷事件をきっかけに発足した団体でしたが、高齢化等による活動人数の減に伴い、令和2年に解散してしまいました。宮下さんたち4名は、その意思を継ぎ、活動を継続しています。

活動内容は、昼休みの子どもの見守りで、暑い日も寒い日も欠かさず、週3日、戸祭小へ足を運んでいます。「子どもが孫のようで、可愛いと感じるし、元気をもらえる」「安全にのびのびと遊んでもらえたらいいと思う」と語っていた宮下さんと村田さん。平成17年度から通算16年に渡り、活動を続けてくださっています。

手伝いたい！特技を活かしたい！など、きっかけは何でもOK！

問 教育企画課 028-632-2705

加藤さんやとまつり見守り隊さんのように、 宮っ子の教育を支援してくれる地域の方々をお待ちしています

宇都宮市教育委員会では、学校教育への支援や地域で子どもの育成活動を実践している「教育支援者」の皆様や図書館や生涯学習センターでの講座を通して本市の社会教育推進に大きく貢献いただいた「社会教育振興貢献企業等」の皆様に対し、感謝状を贈呈しています。

令和4年度は、教育支援者77名の皆様へ感謝状を贈呈しました。

ご協力いただける方、興味のある方は、お気軽に教育企画課までお問合せください。



▲令和4年11月12日 感謝状贈呈式の様子

50年以上活動している人も!

教育支援者の活動例



学校環境
美化活動



登下校の
見守り など



読み聞かせ

得意分野を活かした多様な講座を実施!

企業が実施した講座の例



- ・親学出前講座
(食品の知識、命の大切さを学ぶ)
- ・子育て支援講座
(親子おやつ教室、新聞スクラップ作品づくり) など

ダンスでとちぎの魅力を発信！／ 陽光小学校の皆さん

陽光小学校の全児童が、10月に開催された「いちご一会とちぎ国体」「いちご一会とちぎ大会(障害者スポーツ大会)」に、協力しました。

- 1,2年生は公式ホームページのカウントダウン画像を作成。5,6年生は都道府県応援団として、国体の開会式に参加しました。
- 3,4年生は両大会の開会式で式典演技を披露。豊かな大地に根差した「農業」を表現すべく、「かんぴょう」と「いちご」に扮したダンサーとして、傘やリボンを使いながら、栃木県の魅力などを発信し、日本全国の人々に“元気”と“希望”を届けました。



▲カウントダウン画像



▲いちごダンサー



▲かんぴょうダンサー



▲タオルで応援(都道府県応援団)

食文化への理解を深めよう／

宮っ子ランチのレシピ紹介 ～かんぴょうのごま酢あえ～



今回は、栃木県の特産品「かんぴょう」を使ったあえ物を紹介。春の宮っ子ランチの一品として、にんじん・きゃべつ・コーンを加えた栄養豊富で彩りのよいレシピで、あえ衣には酢を使い、酸味のある、さっぱりとした味付けになっています。ぜひ、御家庭でもお試しください。



▲学校給食レシピ「クックパッド」で発信中

【材料】4人分

- ・かんぴょう(乾燥)…8g
- ・にんじん…20g
- ・きゃべつ…100g(2枚)
- ・ホールコーン缶…30g(大さじ2)
- ・砂糖…3g(小さじ1)
- ・酢…6g(小さじ1強)
- ・しょう油…7g(小さじ1強)
- ・すりごま(白)…6g(大さじ1)

【作り方】

- ① かんぴょうは洗って戻し(※)、1.5cmくらいの長さに切る。
- ② にんじんはいちょう切り、きゃべつは1.5cmの色紙切りにする。
ホールコーンは汁気を切る。
- ③ かんぴょう・きゃべつ・にんじんをそれぞれゆでて、水で冷ました後、よく水気を切る。
- ④ すりごまと調味料を合わせてあえ衣を作る。
- ⑤ ③ にホールコーンを加え④のあえ衣と和える。

かんぴょうの戻し方

- ① さっと水洗いし、軽くしぼる。
- ② 塩少々をふりかけ、やわらかくなるまでよくもむ。
- ③ 塩を洗い流し、たっぷりのお湯でかんぴょうの色が少し透き通るまでゆでる。

? 「宮っ子ランチ」とは?

宇都宮の気候風土や食文化への理解を深め、郷土への愛情を育めるよう、本市の特産品などを取り入れた季節ごとの献立です。



～春の宮っ子ランチ(5月)～

- 自然のめぐみキラキラ献立
- ・麦入りごはん
- ・豚肉と宮野菜いため
- ・かんぴょうのごま酢あえ
- ・春野菜のみそ汁
- ・ミルクプリンいちごソース
- ・牛乳



11月には、全校で秋の宮っ子ランチが提供されました。

＼皆様の温かいご支援が、次代を担う宮っ子へのエールになります／

返還が免除される奨学金制度へのご協力をお待ちしています

宇都宮市では、経済的理由のために修学を断念することがないよう、子ども達を支援し、未来の宇都宮を担う人材を育成するため、「返還が免除される奨学金制度(返還免除型育英修学資金貸付制度)」を実施しています。

問 教育企画課 028-632-2705

Q 「返還が免除される奨学金」とは？

- A 最終学校を卒業後、1年以内に本市に住み始め、その後5年間継続して住み続けた方について、貸付金の返還を免除する制度です。(大学、大学院、短期大学、専修学校〈専門課程〉への進学予定者が対象)

Q 私たちにできる支援の方法は？

- A 返還免除の原資となる「宇都宮市育英基金」への寄附をお願いします。
個人・団体を問わず、どなたでもご寄附いただけます。(寄附金控除の対象になります)
まずは、教育企画課へご相談ください。

ご寄附いただいた方には、
市ホームページでの紹介や市長による
感謝状贈呈があります。



▲寄附の詳細は
こちらから。

Q どんな人が制度を利用しているの？

- A 宇都宮市へ愛着を感じており、将来、宇都宮市に就職して貢献したいと考えている方の申し込みが多いです。
今回は、本制度を実際に利用して短大を卒業し、市内保育園に就職後、まもなく免除の要件である本市居住5年を迎える保育士の方にお話を伺いました。

奨学金利用者の声

宇都宮市は、東京都などへ行くにも比較的距離が近く、新幹線も通っており、交通手段がたくさんあります。また、美味しい食べ物がたくさんあるところも魅力だと思います。

この制度を利用しようと思ったきっかけは、宇都宮市での就職を考えていたこと、また両親の負担を少しでも減らしたいと思ったからです。

在学中は、この制度を利用したおかげで、実習や専門的な勉強に時間を割くことができ、充実した学校生活を送ることができました。

保育士となってからは、子どもたちがより良い環境の中で、自分の気持ちを自由に表現し、好きな遊びを楽しむ中で、様々なことが経験できるよう心掛けています。また、子どもたちが「今何をしたいのか」「何に興味があるのか」を日々考え、一人ひとりの発達にあった環境を設定し、遊びや心の動きの変化を見守っていくようにしています。

子どもたちの成長の様子を見守っていくこと、そしてその成長を保護者の方々と共有し、一緒に成長の過程を喜んでいけることが、この仕事のやりがいです。

今後は、様々な分野について学び続けるとともに、子どもたちにとってより良い環境を整え、多様な経験ができるよう、一人ひとりをよく見守りながら保育を行っていきたいと思います。

宇都宮美術館開館25周年記念企画展を開催中

開館25周年記念「二つの教会をめぐる石の物語」【令和5年2月19日～4月16日】



▲カトリック松が峰教会聖堂
マックス・ヒンデル、1932年竣工



▲日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂
上林敬吉、1933年竣工



▲『宇都宮教会献堂式記念絵葉書』
1932年、カトリック松が峰教会蔵

宇都宮にあるカトリック松が峰教会聖堂、日本聖公会宇都宮聖ヨハネ教会礼拝堂は、大谷石を用いた貴重な歴史的建造物として知られており、本展では、これらを生設計した二人の建築家を中心に教会建築の歩みと魅力をさまざまな観点から紹介します。

見どころは

対照的な二つの教会!!

ともに鉄筋コンクリート造・大谷石張という近代工法を用い、西洋中世の建築様式を蘇らせます。「松が峰教会聖堂」はロマネスク・リヴァイヴェルの荘重さを、「聖ヨハネ教会礼拝堂」はイギリス由来のさまざまな様式を組み合わせた簡素さを、それぞれ特徴としています。

陽咸二展 混ざりあうカタチ 【令和5年2月19日～4月16日】

大正から昭和初期にかけて活躍した彫刻家陽咸二（1898～1935）の全貌を明らかにするはじめての大回顧展。彫刻のみならず絵画、版画、工芸などの仕事もあわせて5つのキーワードを手がかりに、陽咸二の独特な芸術世界を逍遙していきます。



▲《降誕の釈迦》(1929年)



▲《鉢中金魚之図》(1924～30年頃)

開館25周年記念 全館コレクション展「これらの時間についての夢」展 【終了】



▲プロムナード(過去の企画展を一挙紹介)

宇都宮美術館が開館から今まで収集してきた美術作品を「時間」というテーマで紹介。

特別展示として、大巻伸嗣、高橋銑、力石咲の現役アーティスト3名に、本展のための新作を発表していただきました。

令和4年9月 宇都宮美術館がリニューアルオープン

問 文化課 028-632-2763

令和3年8月から約1年間、休館していた宇都宮美術館が、空調設備等の改修を行い、リニューアルオープン。特に、照明はLED化により、なめらかな調光・調色が実現。細かな調節により、作品の豊かな色彩を引き出せるようになりました。特に、「青」が使われた作品は必見です。

ぜひご来館ください。



▲展示風景



▲ルネ・マグリット《大家族》
(1963年)



▲ミュージアムショップも再オープン

全国でもトップクラスのエアコン設置率／

小中学校体育館へのエアコン設置が完了

問 学校管理課 028-632-2710



令和3年度の中学校体育館へのエアコン設置に引き続き、令和4年8月には、小学校体育館へのエアコンも完備。全国に誇れる教育環境を実現することが出来ました。

引き続き、安全で快適な教育環境づくりに努めてまいります。

教育委員コラム

皆様こんにちは。

この度、教育委員となりました新任の亀山弘美と申します。

私は母親である傍ら、過去には姿川中央小学校PTA会長、宇都宮市PTA連合会副会長、そして魅力ある学校づくり地域協議会会長として学校教育に携わり、多くの方々に関わりながら様々な経験を重ねてまいりました。

現在では民生委員・児童委員・主任児童委員として子どもや子育てに関する支援を専門に、児童生徒の健全育成に取り組み、小中学校をはじめ幅広い関係者との連絡役を担っております。

子育ては既に終了し、孫の成長を楽しみにしている今、孫たちが歩みゆく次世代に、これまで培って参りました経験を活かし、どのようにして教育行政と関わり繋げていければと模索しておりました折、教育委員を仰せつかり教育行政の意思決定ができる場への参画の機会を頂けた事をこの上ない好機と捉え、未来を担う子どもたちのため導いていけるよう、一層尽力して参ります。

そして、学校教育に関わる全ての方々が連携したネットワークを活かし、児童生徒たちが安全で安心な学校生活を送れるよう取り組みたいと考えております。微力ではございますが、誠心誠意努めて参りますので今後とも宜しく願いいたします。



かめやま ひろみ
亀山 弘美 委員

プロから学んだ小学生が「ミュージカル」に初挑戦♪ ゆずっこ55(上河内東小放課後子ども教室)(9月21日)

オンライン上で、プロの先生から歌やダンス、表現などの基礎を学んだ小学生が、その成果をミュージカルとして発表。

コーディネーター鈴木陽一さんを中心とした、スタッフの「コロナ禍でも、子どもたちのかけがえのない1日1日に豊かな学びと体験をしてもらいたい」との熱い思いがこもった企画で、子どもたちは歌の意味を考えながら自分を表現し、楽しく発表しました。



放課後子ども教室とは?

放課後等における全ての児童の健全育成を目的に、市教育委員会と地域が協力して取り組む事業です。地域の実情に応じた地域ぐるみの子育てを推進しています。



夢を育む『宮チャレ』!! 社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」

今年度で20年目を迎え、「宮チャレ」として広く浸透してきた本事業。地域の事業所の方による厚いご理解とご協力で実施しており、生徒にとっても、将来の目標や夢について考える貴重な機会となっています。

これからも、充実した体験が継続できるよう、関係者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



「宮っ子チャレンジウィーク」とは?

市立中学2年生を対象とした5日間の社会体験学習。職場での体験を通して、仕事の楽しさや大変さを実感し、生徒の職業観や勤労観を育てています。



子どもから大人までが宇都宮に愛着と誇りを感じながら、夢を持ち続けられるよう開催!/ 第15回うつのみや人づくりフォーラム

あけはし だいじ
明橋 大二さんによる『「子育てハッピーアドバイス」～自己肯定感を育む子育てを考える～』をテーマにした講演動画の配信(令和5年3月31日まで)や、「キッズエンジニア」「子ども警察署」など計14ブースによる「宮っ子ジョブタウン(職業体験)」及び「体験のコーナー」の実施、職業紹介や食育、百人一首に関するパネル展示、「ふれあいのある家庭づくり」作品コンクール入賞作品の展示などを実施しました。



◀詳細はこちらから。
明橋さんの講演動画を配信中です。
パソコンやスマートフォンで
ぜひご覧ください。

▲講師:明橋大二氏
(子育てカウンセラー・心療内科医)
(著書:「子育てハッピーアドバイス」など)

▲「宮っ子ジョブタウン」と
「体験のコーナー」の様子

イベントの様子



宇都宮市では「育もう 地域のおもいで 子どもの未来」を合言葉に、心豊かでたくましい宮っ子を育てるため、家庭・地域・学校・企業・行政が一体となって社会総ぐるみによる「人づくり」に取り組んでいます。

今年度も、たくさんの方のご協力をいただきながら、様々なイベントを通じて、心豊かでたくましい宮っ子を育みました。その一部をご紹介します。

3年ぶりの対面開催！ うつのみや百人一首 市民大会(11月20日)

子どもから
お年寄りまで
約300人が参加



▲感染症対策のため、間隔をあけて開催

新型コロナウイルス感染症の影響で、2年連続中止となっていた本大会を3年ぶりに開催。

予選から決勝まで、手に汗握る白熱した試合を繰り広げ、大変盛り上がりしました。

次年度も10月29日(日)に開催予定ですので、奮ってご参加ください。
百人一首のまのうちのみやと一緒に盛り上げましょう!

「百人一首」と「宇都宮」の関わりとは?

百人一首は、藤原定家が、息子為家の妻の父、宇都宮頼綱(法名:蓮生)の懇望によって染筆した小倉色紙(小倉山荘色紙和歌)が始まりです。後に、為家により百人一首が成書となり、数多くの能書家による写本として現代に伝わってきたといわれています。



自然の中でALTと英語を使ってコミュニケーション

小学生66人

中学生44人

イングリッシュキャンプ(7月28日、8月22日)

冒険活動センターで、児童・生徒とALT(外国語指導助手)が英語でコミュニケーションを図りながら体験活動などを行うイングリッシュキャンプを実施。今後も楽しみながら学べる機会を創出していきます。



(内容)

- ・園内をまわり、クイズに答えながらゴールを目指すウォークラリー【共通】
- ・キーホルダー作り【小学生】
- ・フライングディスクを投げ、ゴールまでの投げた回数を競う
ディスクゴルフ【中学生】



- ・「英語で会話することは難しかったけど、いい経験ができた」
- ・「実際に使ってみて、学んだことを使えたことがとても楽しかった。先生が、陽気で面白かった」
- ・「初めは緊張したが、優しく支え合い話すことの大切さ、楽しさを知れてとてもいい経験ができた」



オンラインでALTと英語を使ってコミュニケーション

小学生34人、中学生13人

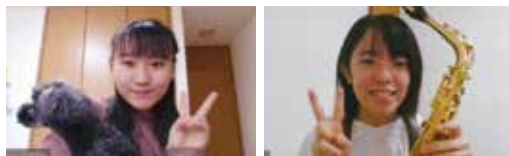
オンライン英会話“Miya”CCO English(10月11日、12日)

学期間休業中に、希望する児童・生徒がオンライン環境を利用してALTとの外国語活動を行う“Miya”CCO Englishを実施。今後も英語でのコミュニケーション能力の育成を図っていきます。



(内容)

- ・英語を聞いて絵を描く
- ・英語の課題を聞いて見つけた物について話す
- ・実物を見せながら自分にとって特別なものを紹介する など



“Miya”CCO English とは?

ALTとの言語活動を通して、外国の文化を知りながら、主体的に英語でコミュニケーションを図る力の育成を目指すオンライン英会話です。

“Miya”CCO(=「宮っ子」)の「CCO」は、「Challenge Communication Online」の頭文字です。



- ・「ALTの出身国のことを聞いたり、他の参加者と好きなことなどを英語で伝え合ったりすることができ、楽しく参加できた」

宇都宮市学校応援制度

企業市民の皆様の教育への参加と、持続可能な教育基盤の形成を目的に、企業の皆様から企業名等を掲載した小中学校で使う物品(用紙、封筒等)の寄附を募集しています。

人づくりに参加する第一歩として、本制度をぜひご活用ください。



寄附物品の例

A4用紙、封筒(角形2号、長形3号)、スリッパ、ノート、ファイル、クリアファイル、デスクマット、スタンプ台、傘立て、玄関マット、机、椅子、書棚など、その他の物品も寄附可能です。

企業名等の範囲

企業名、ロゴマーク、キャラクター、キャッチコピー

物品の活用方法

- 保護者・地域住民向け…通知(行事案内、学校だより)、集金袋、学校来賓時の物品(スリッパ、記帳ノート) など
- 教職員向け…事務用品(ファイル、クリアファイル、ノート)、机、椅子、書棚 など



▲寄附いただいた封筒

ご協力頂いた皆様には、市長から感謝状を贈呈

感謝状贈呈者 (R3.5~R4.12)

- 株式会社美工電気
- 株式会社五光
- 福宮建設株式会社
- 株式会社大塚カラー
- 有限会社石川印刷所 ※敬称略、順不同



▲令和4年9月29日 感謝状贈呈式の様子

宇都宮市
育英基金への寄附も
お待ちしております

詳細は6ページ

オリジナルきんちゃくをプレゼント!

完成したぬりえをお近くの**カローラ栃木**各店までお持ちください。

※「きんちゃく」のプレゼントは、おひとり様ひとつ、後日引き渡となります。
 ※教育委員会より限定、対象年齢に制限無し。
 ※令和5年3月末日までにお持ちください。
 ※ぬりえは濃い色(マジックやクレヨンなど)でぬっていただいた方が、よりきれいにプリントでき、オススメです。



COROLLA Sport

カローラスポーツ G's (ハイブリッド車)
 (1.8L+モーター+2WD 5人乗り) **289.0万円**〜
※税込価格



カローラスポーツを 好きな色にぬって、 オリジナルきんちゃくを作ろう!

※価格は1ヶ月換算を小付です。保険料、税金(顔く消費税)、登録料等の諸費用は別途申し受けます。価格にはオプション価格は含まれておりません。自動車リサイクル法の施行により、リサイクル料金が別途必要となります。詳しくはスタッフにおたずねください。掲載の内容は2022年12月現在のものです。

トヨタカローラ栃木



トヨタカローラ栃木のホームページ
**教育委員会日より限定の
ぬりえもコチラから→**
<http://www.corolla-tochigi.co.jp>

本社 / 宇都宮市上横田町798番地 ☎0077-78-1233

有料広告 (財源確保のため、有料広告を掲載しています。)
 教育委員会だより第24号 (令和5年2月10日発行) 編集・発行 宇都宮市教育委員会事務局 教育企画課
 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号 ☎028(632)2705 第24号の印刷費613千円 (消費税を含む)